学校便り　10号
令和８年　９月28日
宮古島市立　狩俣小学校
発行者：校長　喜屋武真史

広　い　心

地域が一体となった十五夜（豊年祭）

9月25日(金)、狩俣の地域行事である「十五夜(豊年祭)」が盛大に行われました。狩俣小学校としても「地域行事を盛り上げたい」という子供たちの思いを受け、授業の中で取り組んで来ました。

事前学習では、3～6 年生で五穀豊穣を願う「ふきゃぎ(ふちゃぎ)」作り体験をしました。「自分たちも願いを込めて作ってみたい」という子供たちの想いがありました。**指導してくださったのは狩俣信子さん**です。自分で作った「ふきゃぎ」に大喜びの子供たちでした。次に、全学年で無病息災を願いながら「マーニ」を作りました。マーニ作りの指導をしてくださったのは、**狩俣勝紀自治会長、池間豊さん、そして砂川憲幸さん**です。これまでにも経験しており、器用にマーニを織り込んでいく子もいれば、不慣れな感じで苦戦している子もいましたが、どのマーニも個性的で無病息災の効果は抜群だったと思います。また、5,6年生は「地域行事を盛り上げるために自分たちにもできること」を考えました。今年は、「小さい子にも楽しんでほしい」と考え、「じゃんけん大会」と「こども綱引き」を狩俣自治会の役員会で提案しました。役員の皆さんは、真剣な表情で子供たちの考えに耳を傾け、質問などをしながら検討してくださり、十五夜のプログラムに入れてもらうことができました。その他にも、「十五夜の唄」を練習し継承したいという子供たちの声を受けて、**狩俣自治会長が講師**となってくださり、休みの日に唄の練習も頑張っています。

そして当日は、みんなで作ったマーニを振りながら、五穀豊穣・無病息災を願い元気よくパレードを行いました。祭り会場では、5,6年生が自分たちでマイクを持って「じゃんけん大会」や「子ども綱引き」を進行し、みんなで「十五夜の唄」を歌いながら「神輿」を上げ、会場を大いに盛り上げることができました。**子供たちは「自分たちの力で地域行事を盛り上げることができた」という達成感に満ちた表情をしていました。**

その他、エイサーの演舞を披露することもでき、地域行事に参画し祭りを楽しむことができた子供たち。**大人も子供もみんなで地域行事を盛り上げることができ「地域が一体」となった十五夜祭となりました。**









